



エクシード茅ヶ崎 防災活動ニュース

発行NO 第6号
発行日 2019年11月24日
発行 エクシード茅ヶ崎
防災対策委員会
編集者 市場 祐輔

令和元年 “総合防災訓練” 実施

全戸対象の津波・洪水避難訓練 98世帯/(186世帯)が参加

エクシード茅ヶ崎自主防災委員会主催の令和元年度「防災訓練」を9月8日(日)10時から、当マンション全戸対象に実施しました。今回は、①津波・洪水による避難訓練、②隔て板突き破り体験 ③らくらくソフト担架搬送体験、④炊き出し訓練を実施しました。



上層階への避難風景



当マンションの防災対応に関し説明

当日、自主防災委員は9時に防災本部(2階洋室)に集合し、当日の担当割り、トランシーバーでの本部との連絡方法について防災リーダーより説明して頂き、10時にマイクで構内放送による津波警報を発信し訓練を開始しました。

自分の身は自分で守る「自助」、住民による要支援者の避難救護「共助」それぞれ災害対応力の向上を目指し、全戸対象で訓練を行いました。災害はいつ来るかわかりません、その為にも定期的な防災訓練を通じて各自日々、防災意識をもって行動することが重要です。

……防災訓練の概要は左表参照……

今回、茅ヶ崎市防災対策課より2名の方も11時30分の体験訓練まで視察され、エクシード茅ヶ崎の防災対策に対する住民の意識の高さを感じたとの講評を頂きました。

総合防災訓練の概要

訓練項目	訓練概要
津波避難訓練	10時にマイクによる津波発生警報、訓練参加者黄色いタオルを廊下の手すりに結び、各階ベーターホールに避難した。(1階~4階の住民は5階以上へ避難)
炊き出し訓練	炊飯袋を使って、防災用大釜で炊き出し及び自主防災委員によるトン汁を作り、参加者に提供した。
隔て板突き破り体験	今回は前回の反省(安全面)より、物干し竿を使った突き破り訓練を行った。
ソフト担架搬送訓練	災害が昼間発生する事も想定し、特に女性住民に体験してもらった。今回は2種類のソフト担架を使って搬送訓練を行った。(寝させた状態、座った状態)
訓練総評	2階防災本部(洋室)に集合し、参加者より訓練の意見・感想をヒヤリングし、訓練総評を行った。



当日の担当割り等説明



構内放送による避難指示



各戸への避難呼びかけ

ソフト担架搬送訓練、隔て板突き破り訓練



ベランダ間隔て板突き破り訓練

今回、体験訓練として、ソフト担架搬送訓練と隔て板の突き破り訓練を実施した。

要支援者を外階段にて上層階へ搬送に関しては、昼間に災害が発生する事も想定し、女性の方々に体験して頂き6名程度で搬送できることを体験頂いた。

ベランダの隔て板の突き破り体験に関しては、前回の反省(安全面)より物干し竿を利用し突き破りを体験してもらい、突き破ることを体験して頂いた。



防災関連に関し住民への説明



ソフト担架での使用方法説明



女性による上層階への搬送風景



女性6名で搬送体験



搬送に使用したソフト担架

震災時、最も必要なのは水とトイレであり、万が一の際に断水でも使える「簡易トイレ」と「水」を各家庭で備蓄しておきましょう！

